

ドライバーの注意を促すためのカラー舗装などの対策について、関係機関と協議してまいります。



県道川藤・野田線（東中学校入口）

### 河川防災ステーション 用途地域決定と今後

(問) 関係者の理解と協力により、江戸川堤防強化事業が進められています。これらとあわせて、玉葉橋の袂に防災ステーションが決定しましたが、市の活用計画について伺います。

(答)市長 市が設置する、会議室や待機所など施設の活用や国が整備する、河川防災ステーションの上部空間の平常時の活用について、地域の活性化や市民交流の場として活用が図れるように、協議を進めてまいります。  
(問) 住民の不安・問題の対応は。  
(答)市長 整備内容については、今後、検討の場を設け、地域の皆様の不安問題などについて十

分に意見要望を伺いながら、江戸川河川事務所と協議を行ってまいります。

### 地下鉄8号線 誘致促進について

(問) 進捗状況と、今後の見通しは。  
(答)市長 建設にむけた課題は大きい中で「都市鉄道利便増進事業費補助制度」が創設され、今年には、調査費をつける話もありました。

### 中央区画整理地内・ 大場川堤の 安全防護柵を 玉川 正幸

(問) 中小河川の安全対策ですが、中央区画整理地内に面している大場川に安全防護柵を設置し、子供たちの安全対策を。

(答)都市建設部長 大場川を管理している埼玉県中川綾瀬川総合治水事務所に確認したところ、「河川転落事故防止施設設置要綱」に基づいて、ご指摘の箇所については、設置することは難しいとの回答がありました。しかし、当箇所周辺の住宅化が進み、小さなお子さんも多いことから、柵の設置など、安全対策につい

て、県に要望して参ります。

### 観光吉川のアピールを

(問) 吉川市以外に住んでいる、全国の吉川さんを名乗る姓をもった方々に呼びかけ、ゲスト市民として迎えたかどうかについて伺います。



よしかわ観光協会（なまずの里マラソン）

(答)市民生活部長 吉川市は古くから親しまれてきた「なまず」をテーマに観光協会や商工会との連携で「なまずの里」マラソンや商品開発を進めてきました。提案の吉川市へゲスト市民として迎えることについては、先進地の事例などを調査し研究します。

### マイバツク普及運動を

(問) 地球資源を守り、環境に配慮し、二酸化炭素を削減するた

めに、出来ることから実行していくことが必要です。レジ袋をやめ、マイバツクに切り替えした場合、年間の石油エネルギー74キロリットルが節約できるのです。

(答)市民生活部長 現状としては、マイバツクの利用者はまだ少ない状況です。今後はマイバツクの会をはじめとする、環境団体と連携しながら、マイバツクの普及運動を推進し環境意識の向上に努めてまいります。

### 妊婦無料健診の 拡大を 川島 美紀

(問) 妊産婦健康診査の現状は、妊娠初期から分娩まで14回程度の受診が望ましい回数と示されています。平均的な健診費用にすると1人当たり約11・7万円。公費による無料健診はおおむね2回程度ですが、かねてから助成回数の引き上げが望まれております。平成16年度の調査では、秋田県で県内自治体の平均回数が8・16回、香川県4・11回、富山県4回など、国の助成を上回って実施している市町村もみ

られます。当市としても、少子化対策の拡充として妊婦無料健診の拡大を推進すべき、と考えますが、ご見解を伺います。



母子健康手帳

(答)市長 当市では、妊娠中の母親や胎児の健康を守るため、現在母子健康手帳の交付時に妊婦健診票を発行。妊娠中に2回公費負担で受診していただいています。平成19年度は現行どおりで実施してまいります。妊娠中の健康管理の重要性は十分認識していますので、無料妊婦健診の拡大につきましては、今後近隣市町の動向も参考にしながら検討してまいりたいと、考えております。

### 活字文書読み上げ装置の導入で 公的窓口の情報基盤整備の推進を

(問) 平成18年度補正予算に「障害者自立支援対策臨時特例交付金事業」があり、全額補助自治